

当社のレースカーをサーキット用に足回セットし車高を落としていくとフロントのロアアームが水平付近まで角度が上がりました。フロントのストローク量を多く取るセットのためフルストローク時にはロアアームの角度が逆八の字になります。これではある一点を境にロアアームのスイベルハブ側支点はボディーに近づく方向に動き、ロアアームのみ見た場合ポジティブ方向にキャンバー変化していきます。(アッパーアームの支点がある為実際にポジティブなるわけではありませんが…)フルストローク時にロアアームが八の字もしくは水平までになるようなセットが出来ればフロントのキャンバー角はある一定の法則の基に変化していくのではないかと考えました。本来であればアッパーアームも考慮しなければなりません、今回は簡単なパーツの追加で上記のような動きになるようにスイベルハブとロアアームにアダプターを創り装着しました。



スイベルハブとボールジョイントの間に挟みこんで使用します。試作段階では20mm・30mmを作りましたが30mmでは全体のバランスが悪く不都合箇所も有った事と、20mmで十分な物理的效果が得られたために20mmで製作しました。

装着後の効果…

はっきり言って AOKI レベルの運転技術では分かりませんか！？

当社のドライバー (F4 経験者) によると非常にコントロール性がよく、とにかく乗り心地が良いとの事でしたが…このパーツだけに由来しているものではないと思えますが。

車体全体の車高を落とすためにリヤフェンダーの耳を3センチほど大きくしています。これにより前後ともかなりの車高ダウンを行うことが出来るようになりました。

